

大学院(専修免許状)の目標及び当該目標を達成するための計画

(1) 教員養成の目標

本学の教員養成は、教員としての「豊かな人間性」「幅広い教養」「専門的力量」を育成することを目的としている。これは、本学の教育理念である「人間の実学」を具現化したものである。大学院の教員養成においては、高度な専門知を備えた高度専門職業人として、教材研究、授業研究のすぐれた力量を有し、さまざまな教育課題に対する理論的・実践的な解決を追究することのできる中学校・高等学校教員の養成を目的としている。

(2) 当該目標を達成するための計画

① 経済学研究科

経済学研究科では、中学校教諭専修免許状(社会)、高等学校教諭専修免許状(地理歴史・公民・商業)を取得することができる。理論、歴史、政策、地域、統計・計量・情報、国際経済、法律、調査実習、文献研究など、上記の専修免許状に関連する学問領域をカバーするカリキュラムが提供されることはもちろん、少人数の学生を複数の教員できめ細かく指導する体制を整えることで、研究者としての力量の向上と教員としての力量の向上をともに実現する。「探究」が重視される今日の教育現場において、この両者を並び立たせることこそ専修免許状の取得に求められている。

1 年次では、演習担当指導教員のもと履修科目の選択や研究計画書の作成にあたり、授業や研究を通じて教員および研究者としての基礎的な力量を培っていく。2 年次では、履修科目の内容に関するより深い理解や研究内容のさらなる深まりを通じて、教員および研究者としての発展的な力量を培っていく。

② 経営学研究科

経営学研究科では、高等学校教諭専修免許状(商業)を取得することができる。経営学研究科では、「経営コース」と「ビジネス法コース」の 2 コースを設置し、研究ならびに論文作成に係る「M BA 型教育」を展開している。この仕組みのもと、1 年次では、共通科目およびプログラム専攻科目の履修を通じて教員および研究者としての基礎的な力量を養成する。2 年次では、修士論文あるいは特定課題研究を通じて、教員および研究者としての発展的な力量を培う。

③ 経営情報研究科

経営情報研究科では、高等学校教諭専修免許状(商業・情報)を取得することができる。上記の専修免許状に関連する内容も含めて、情報技術、企業、ビジネス、社会に関する深い学識をもち、かつ多様な課題を発見し、分析・解決することができる実践力をもった人材の育成を目指している。そのために、研究指導においては、学生が自ら立てた課題を解決することが重視される。ここで養われた力は教員としての教材研究や授業研究にも大いに発揮される。また、5 つの履修モデルを示すことで、学問領域や身に着ける能力を明確にしており、このモデルの一つとして「情報教育専門家モデル」も提供している。

具体的には、1 年次から基礎科目、専門科目および研究指導の履修を通じて教員および研究者としての基礎的な力量が養われる。さらに 2 年次には、修士論文または課題研究レポートの執筆を通じて、教員および研究者としての発展的な力量も培われる。